

原文部分:

## 天気予報の間違い

どうもスターリン的だね、と思った人もいただろうか。先ごろモスクワから届いた「天気予報を外したら処罰」という記事が面白かった。ロシア緊急事態省の大臣が、予報が間違ったら責任をとれ、と発言したそうだ。

気象庁の長官は「罰金や刑務所で予報の不正確さは防げない」と反論した。大臣が「商品売って金もらうなら商品の質には責任を持て」と言えば、長官も「絶対正確など100万年後も無理」と負けていない。この火花、どう決着がついたのか知りたいところだ。

日本もかつては「当たらぬものは天気予報と宝くじ」と揶揄された。「気象庁」を三度唱えて食あたりを防ぐまじないもあった。予報が「当たらない」ことに引っ掛けた、きつい皮肉である。

いまは随分正確になった。それでも「外れて泰然としているのは競馬評論家ぐらいにしてほしい」という苦言が、先ご

ろの声欄に載った。天気は左右される仕事に就く人の、偽らざる胸の内だろう。

とはいえ「降水」の的中率はいま、翌日の予報に限れば8割を超すそうだ。しかし人は往々にして、当たりより外れたいらだちを記憶する。いきおい2割弱の誤りは、数字以上に不評を買うはめになりがちだ。

誰もが天を戴いて暮らすから、天気予報は万人にかかわる。関連で今一番の注目は、民間会社が入り乱れる桜の開花予想だろうか。ちごこまった季節が過ぎてイベントも宴も満開になる。「花に嵐」も気にかかる。津波警報ほどではないにせよ、外れて泰然とはいかぬ桜前線が、列島北上の途についた。

2010年3月15日



第 1 节

天気予報の間違い

どうもスターリン的だね、と思った人もいただろうか①。  
先ごろモスクワから届いた「天気予報を外したら処罰」とい  
う記事が面白かった。ロシア緊急事態省の大臣が、予報が  
間違ったら責任をとれ、と発言したそうだ②。

気象庁の長官は「罰金や刑務所で予報の不正確さは防げ  
ない」と反論した③。大臣が「商品売って金をもらうなら  
商品の質には責任を持て」と言えば、長官も「絶対正確な  
ど100万年後も無理」と負けていない。この火花、どう決着  
がついたのか知りたいところだ。



译文

报错天气预报

也许有人会想，这是斯大林式的做法。前些天我看了  
从莫斯科发来的关于《如果报错天气预报，将予以处罚》  
的新闻报道，觉得颇有意思。俄罗斯紧急情况部部长表示，  
如果预报错了，要追究（直译：承担）责任。

（俄罗斯）气象厅厅长则反驳说：“即使是罚款、进监  
狱，也不能避免（直译：防止）预报不准确。”部长又说：



“卖了商品，收了款，就要为商品的质量负起责任！”但厅长也不示弱（直译：不服输）：“要绝对准确，那即使是100万年后也不可能！”这场争论迸出的“火花”结果如何，我很想知道。

- ① **注解** 所谓「スターリン的」（斯大林式的）是指一旦失败就会受到惩罚，这是当年斯大林的做法。
- ② **注解** 「責任をとれ」→「責任を取れ」。意思是“承担责任”。「とれ」为命令形。下一段的「責任を持つ」的「持つ」也是命令形。
- ③ **注解** 「気象庁の長官」是紧接上段而来，所以是指俄罗斯的气象厅厅长。



生词&例句

**【先ごろ】** さきごろ **【先頃】** さきころ 前几天；前些日子；不久以前。

<例句> ●先ごろ開かれた会議。⇒最近举行的一次会议。

●先ごろ会ったときはまだ非常に元気だった。⇒前些日子看见他的时候他还很健康。

**【外す】** はず (1) 取下；摘下；解开。(2) 错过；偏离；失掉。

<例句> ●本のカバーを外す。⇒取下书的封皮。

●ミサイルは惜しくも目標をはずした。⇒很可惜，导弹偏离了目标。

**【長官】** ちやうかん 某个政府部门的最高行政负责人。 **注意** 文中此词指俄罗斯气象厅的最高行政负责人，即“厅长”。这和汉语“长官”的意思有所不同。



<例句> ● 官房長官。⇒ (日本内閣) 官房长官。

● 国務長官。⇒ (美国的) 国务卿。

**【防ぐ】** ふせ 防止; 预防。 **【注意】** 文中的「防げる」是「防ぐ」的可能态。

<例句> ● 事故の発生を未然に防ぐ。⇒ 防患于未然。

● 戸締まりを厳重にして盗難を防ぐ。⇒ 关严门窗防止盗窃。

**【反論】** はんろん 反驳。

<例句> ● 雑誌に反論を掲載する。⇒ 在杂志上刊登反驳文章。

● 彼の提案に対して反論が続出した。⇒ 对他的提议, 不断有人提出反对意见。

**【火花】** ひばな 火星; 火花。引申: (激烈的) 争论; 交锋。

<例句> ● 火花を発する。⇒ 迸出火花。

● 火花を散らす論戦。⇒ 白热化的论战。

**【決着】** けつちやく 解决; 结束; 结果。

<例句> ● 是が非でも決着をつけたい。⇒ 无论如何想把它解决了。

● はっきり決着のつかない論争。⇒ 没有明确结果的争论。

第 2 节

日本もかつては「当たらぬものは天気予報と宝くじ」と  
 やゆ 揶揄された。「気象庁」を三度唱えて、食あたりを防ぐまじ  
 ないもあった④。予報が「当たらない」ことに引っ掛けた、  
 きつい 皮肉である。

いまは随分正確になった。それでも「外れて泰然としてい  
 るのは競馬評論家ぐらいにしてほしい」という苦言が、先ご  
 ろの声欄に載った⑤。天気は左右される仕事に就く人の、偽  
 らざる胸の内だろう。



译文

在日本，以前曾有人讽刺，猜不中和中不了的是天气  
 预报和彩票。另还有念诵“气象厅”三次就可以预防食物  
 中毒的“魔法”。这些都是借来极力讽刺天气预报不准（直  
 译：猜不中）。

现在（的天气预报）相当准了。即使这样，前些天还  
 是有读者来信登在了（《朝日新闻》的）读者来信栏目里，  
 其中写道（直译：忠告道）：“猜不中依然做出一副泰然自  
 若的样子，这也就是像赛马评论员之类的人还可以原谅。”  
 对于那些从事易受天气影响之工种的人，这也许是真心话  
 吧。

④ **注解** 为什么念诵三次“气象厅”就可以预防食物中毒呢？



这是一语双关，为文字游戏。以前的日本气象厅是「あたらない」（猜不中、预报不准）的代名词，这与「食あたりしない」（不会食物中毒）谐音。日本人用此来讽刺气象厅的天气预报不准。

- ⑤ **注解** 所谓「声欄」就是倾听读者声音的栏目，汉语一般叫“读者来信（栏目）”。在日语里，除了「声欄」以外，还有「投書欄」「読者欄」等不同的说法。另外，这句话的含义是：猜不中依然做出一副泰然自若的样子，这也就是赛马评论员还可以原谅，言外之意，其他的（如天气预报员等）就不能原谅了。



## 生词&amp;例句

【かつて】<sup>かつ</sup>【曾て】曾经。

- <例句> ●彼女はかつて女優だった。⇒ 她曾是演员。  
●そんなことはかつて聞いたことがない。⇒ 这样的事情未曾听说过。

【宝くじ】<sup>たから</sup>彩票。

【揶揄】<sup>やゆ</sup>揶揄；奚落；讽刺。

- <例句> ●彼の作品を揶揄する。⇒ 奚落他的作品。  
●政治家を揶揄した漫画。⇒ 讽刺政客漫画。

【唱える】<sup>とな</sup>（1）念诵。（2）高喊。

- <例句> ●念仏を唱える。⇒ 念佛。  
●万歳を唱える。⇒ 高呼万岁。

【食あたり】<sup>しょく</sup>【食中り】<sup>しょくあた</sup> = 【食中毒】<sup>しょくちゅうどく</sup>食物中毒。

<例句> ● 食あたりしたにちがいない。⇒ 一定是食物中毒了。

【まじない】<sup>まじな</sup>【呪い】(1) 符咒；咒文。(2) 巫术；魔法。

<例句> ● まじないをする。⇒ 行魔法。行巫术。念咒。

【引っ掛ける】<sup>ひっか</sup>借此；利用。【注意】此词有多个义项。

<例句> ● 出張に引っかけて帰省する。⇒ 借出差机会回老家。

● 冗談に引っかけて痛烈な皮肉を言う。⇒ 借开玩笑  
极尽讽刺。

【きつい】厉害；严厉。

<例句> ● 冗談がきつい。⇒ 玩笑开得太厉害。

● 今年の冬は寒さがきつい。⇒ 今年的冬天冷得很厉  
害。

【泰然】<sup>たいぜん</sup>泰然。

<例句> ● 泰然たる態度。⇒ 泰然的态度。

● ピストルを突きつけられても彼は泰然としていた。  
⇒ 虽然被手枪顶着，他仍然泰然自若。

【苦言】<sup>くげん</sup>忠言；忠告；劝告。

<例句> ● 彼は友達に苦言を呈した。⇒ 他向他的朋友进了忠  
言。

● きみに一言苦言を呈したい。⇒ 我想向你进一忠言。

【偽る】<sup>いつわ</sup>说谎；歪曲；颠倒黑白。【注意】「偽らざる」指真实。

「ざる」为表示否定的文言助动词，在现代日语中多用于书面语。

<例句> ● 偽らざる気持ちを述べる。⇒ 陈述真情实意。

● 事実を偽る。⇒ 歪曲事实。

【胸の内】<sup>むねうち</sup>内心思想；心情。



<例句> ●幼馴染に胸の内を明かした。⇒ 对发小吐露自己的内心思想。

●彼女の苦しい胸の内を感じさせるブログでした。  
⇒ 她的博客令人感觉到她那痛苦的心情。

### 第 3 节

とはいえ「降水」の的中率はいま、翌日の予報に限れば8割を超すそうだ。しかし人は往々にして、あたりより外れたいらだちを記憶する。いきおい2割弱の誤りは、数字以上に不評を買うはめになりがちだ⑥。

誰もが天を戴着暮らすから、天気予報は万人にかかわる⑦。関連で今一番の注目は、民間会社が入り乱れる桜の開花予想だろうか。ちぢこまった季節が過ぎてイベントも宴も満開になる⑧。「花に嵐」も気にかかる⑨。津波警報ほどではないにせよ、外れて泰然とはいかぬ桜前線が、列島北上の途についた⑩。

#### 译文

虽说如此，但据说现在只要预报范围仅限于翌日的话，那预报下雨的准确率可超过八成。但是，预报不准（直译：预报不准比预报准）往往令人焦虑。不到两成的误报势必更容易招致比此比例（直译：数字）更多的人的不满。

不管是谁都是头顶着天生活，天气预报影响着成千上

万的人。现在人们最关心的恐怕是各民营公司关于樱花树何时开花的各种预报吧。(冷得)卷缩着身子的季节过去了,各种(赏樱)活动和聚餐也会随之频频举行(直译:盛开)。现在担心的是会不会来暴风雨把樱花刮落。“樱花前线”正从列岛南部北上,即使预报樱花开花期没有预报海啸那么重要,但还是希望能报得准一些(直译:没猜中,就不能令人泰然自若的“樱花前线”……)。

- ⑥ **注解**「数字以上」指比「2割」更多的人。
- ⑦ **注解**注意,这里的「戴く・頂く」取“顶在上面、在头上”的义项,例句如「頭かしらに霜しもを頂く」(满头白发)、「星を頂いて帰る」(披星戴月而归)等。
- ⑧ **注解**「ちぢこまった季節」(卷缩着身子的季节)指寒冷的冬季。
- ⑨ **注解**「花に嵐」为谚语,意思是“好东西容易被破坏掉”。另还译作“好事多磨”、“花有风雨月有云”等。原文中用的是字面意思。
- ⑩ **注解**这句很难。译文根据原句所含的意思,进行了顺序上的改变,以符合汉语的表达习惯。



生词&例句

**【往々】**おうおう **【往往】**おうおう 往往;常常。

<例句> ● こういうことは往往ある。⇒ 这样的事常常有。

● 往往(に)そうした学生を見かける。⇒ 常常看到这样的学生。



- 往往にして失敗することがある。⇒ 往往有失败的情况。

【いらだち】<sup>いらだ</sup>【苛立ち】 焦躁。

＜例句＞ ● いらだちを抑える。⇒ 抑制焦躁情绪。

【いきおい】<sup>いきお</sup>【勢い】（副词）势必；自然而然。【注意】此词的主要意义是：气势。

＜例句＞ ● いきおいそうせざるを得ない。⇒（势必）不得不那样做。

- 酒におぼれる人はいきおい職務を<sup>おこた</sup>怠るようになる。⇒ 沉湎于酒的人势必玩忽职守。

【不評】<sup>ふひょう</sup> 评价不好；声誉不佳；不受欢迎。

＜例句＞ ● 不評を買う。⇒ 得到不好的评价。招致人们的不满。

- 新作は評論家には不評だ。⇒ 评论家对新作的评价很低。
- 今晚のおかずは家族に不評だった。⇒ 今晚的菜不受家人的欢迎。

【はめ】<sup>はめ</sup>【羽目】 困境；窘况。

＜例句＞ ● 苦しいはめに<sup>おちい</sup>陥る。⇒ 陷入困境。

【入り乱れる】<sup>いみだ</sup> 参杂；混杂。

＜例句＞ ● 入り乱れて戦う。⇒ 混战。

- 情報が入り乱れる。⇒ 各种信息交错。
- 利害が入り乱れてなかなか解決しない。⇒ 利害关系纠缠在一起难于解决。

【ちぢこまる】<sup>ちぢ</sup>【縮こまる】 卷缩；卷曲。

<例句> ●寒くて縮こまる。⇒ 冻得卷缩着身子。

●恐ろしくて縮こまる。⇒ 吓得缩成一团。

【<sup>き</sup>にかかる】【<sup>き</sup>に掛かる】担心；挂念。

<例句> ●試験の結果が気にかかる。⇒ 担心考试的结果。

●帰りの遅いのが気にかかる。⇒ 回来晚我不放心。

【にせよ】(1) 即使；即便。(2) 不论……也好……也好；不管……也罢……也罢。

<例句> ●たとえ子どもにせよ許すわけにはいかない。⇒ 即使是孩子也不能原谅。

●きみにせよぼくにせよ。⇒ 不论是你还是我。

●天气がいいにせよ悪いにせよ、会合は開かなければならない。⇒ 不管天气好坏，集会必须举行。

【いかぬ】= 「いかない」

日语难读词之角

●色気 (いろけ)：色调。

服の色気がいい。⇒ 衣服的色调好。

●下手人 (げしゅにん)：凶手；凶犯。

下手人を捕らえる。⇒ 抓住凶手。

●門出 (かどで)：(1) 出门；出发。(2) 走上……

道路；开始新的生活。

社会への門出を祝う。⇒ 对走向社会表示祝贺。